

令和7年度

緑海小 モデル

— 学習編 —



山武市立緑海小学校

学習規律

(1) 学習用具

基本

○B か 2B のえんぴつ (5～6本) ***鉛筆は家で削ってくる。シャーペンは使わない。**

○赤青えんぴつ

○よく消える消しゴム

○定規 ***15cm前後の長さ・折るタイプは使わない。**

○名前ペン

○下敷き

***無地、または学習中に気がちらない絵柄**

必要に応じて

○赤青黒のペン 1本ずつ

○蛍光ペン

(2) 学習のルール

○チャイムで始まり、チャイムで終わる。

(10分休みは、次の学習の準備をする時間)

○良い姿勢 (ぐう・ぺた・ぴん)

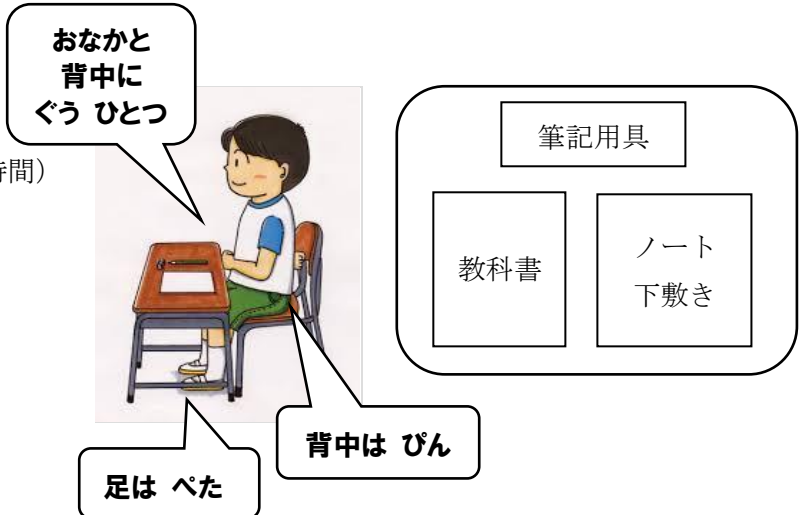
○正しい鉛筆の持ち方

○机上の整理

○返事の仕方

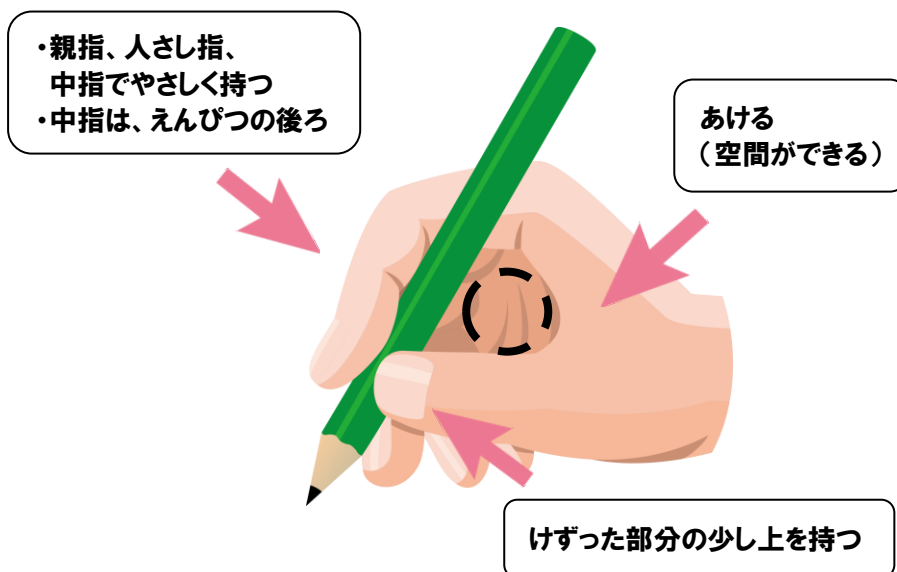
***だまって手をあげ、指名されたら**

「はい」と返事をして起立



(3) 正しい鉛筆の持ち方

○正しい鉛筆の持ち方が身に付くよう、継続して指導する。



話し方・聞き方

(1) 1年生・2年生

【聞き方名人】

㊦いてを見て

㊩っしょうけんめいに

㊵なずきながら

㊶がおで

㊷わりまで

【話し方名人】

㊦んたんに

㊧こえるように

㊨ちをしっかりあけて

㊩っしてあわてずに

㊪とばをたたく

(2) 3年生・4年生

①考えを述べる

わたしは・・・だと思います。

なぜなら・・・だからです。

②方法や順序を述べる

まず・・・をします。

次に・・・をします。

最後に・・・をします。

③話し合う（比較）

わたしも〇〇さんと**同じく**・・・だと思います。

わたしは〇〇さんと**ちがって**・・・だと思います。

〇〇さんに**付け足して**・・・だと思います。

(3) 5年生・6年生

①考えを述べる

わたしは・・・だと思います。

なぜなら・・・だからです。

②事実・感想・意見を述べる

事実・・・です。でした。

感想・・・と思います。

意見・・・と考えます。

③話し合う（関係づけ・例示・まとめ）

〇〇さんの意見と**関連して**・・・だと思います。

例えば・・・です。**具体的に言うと**・・・です。

つまり・・・ということですか。

*話し方・聞き方の掲示物は、教室の廊下側の壁前方に掲示する。

板書（ノート）の書き方

（１）基本事項

- 見開きで使う。（基本として２ページ）
- ノート左１マス分縦線を引き、学習プロセスを記号で書く。

見いだす	自分で取り組む	広げ深める	まとめあげる
学 …学習課題 問 …問題 見 …見通し	自 …自分で考える	友 …友達と学び合う 新たな考えに気 付く	ま …まとめ ふ …ふりかえり 練 …練習問題

参考：千葉県教育委員会「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム

○学習問題（ノート：青 チョーク：黄）

まとめ（ノート：赤 チョーク：赤） 定規を使い、線で囲む。

- 児童のノートと同じマス目のノートに板書計画を作成する。
- 低学年は、児童のノートのマス目と合わせて書く。

（２）算数科の板書（ノート）の例

学 ～よいのだろうか。 （問題解決型 児童の発言からつくる）	友 ・友達の発表で共通する考え方や、自分の考えにつけたしておきたいことを書く。
問 わかっていること： <u>青線</u> きていること： <u>赤線</u>	教師が、キーワードとなる箇所に、色線を引いたりふきだしを使ったりすると、わかりやすい。まとめにつながる。
見 ・図（線分図） ・表 ・たし算 見通しをもたせる。	ま 学習問題をふりかえり、キーワードを使ってまとめる。自分でまとめが書けるとよい。
自 （図） も ：具体物 ず ：図 こ ：言葉 け ：計算 し ：式 これらを使って自分の考えを表現できるようにする。	ふ わ ：わかったこと た ：たのしかったこと が ：がんばったこと し ：ほかにしりたいこと

（３）わかりやすいノートづくりのための指導

- 行、空間をあけ、スペースをとる。
（書き込みができる、計算ミスが減る）
- 自分の考えや途中の計算は消さずに、付け加える。
- 色を使う。（使いすぎは×）
- ふきだしを使う。
（キーワード、ポイントとなるところがわかりやすい）
- 記号（①～②～③～）、やじるし（⇒）などを使う。

千葉県の授業改善のキーワード

「自分の言葉で学習のまとめを書く」



基礎学力定着の取り組み

(1) 音読活動 正しく はっきり すらすらと

- 月に1～2作品以上の音読（児童の実態に合わせた作品の選定）
- 朝の会での音読
- 家庭学習での音読（音読カードの活用）

(2) 書く活動

- 全校行事、校外学習、体験学習等、書く機会を多く捉え、**1か月に1回程度**作文を書く。
(例)

1 学期	2 学期	3 学期
4 月 ○年生をむかえて	9 月 始業式をむかえて	1 月 始業式をむかえて
5 月 運動会	10 月 学年での取り組み	2 月 学年での取り組み
6 月 学年での取り組み	11 月 学年での取り組み	3 月 1年間を振り返って
7 月 学年での取り組み	12 月 マラソン大会	

- *作品は廊下や教室に掲示する。
- *キャリア・パスポートと兼ねて取り組む。
- *児童の実態に合わせて、作文用紙やワークシートの工夫を図る。

(3) 読書活動

- 朝の読書タイムの徹底（**8時には、静かに読書が始まっている状態**）
- 読書カードによる意欲化と記録（担任の呼びかけ・図書委員会の取り組み・図書室に行く時間の確保）
- 公立図書館（うぐいす文庫）との連携、国語科等の教科学習を生かした並行読書

(4) 言葉に触れる環境づくり

- 四字熟語、ことわざ、漢字の部首、特別な読み方の漢字の掲示物を廊下に掲示し、児童が多くの言葉に触れる環境づくりをする。（夏休みに更新をする。）

(5) 家庭学習の推進

- 自主学習ノートの活用
- 家庭学習推進習慣（6月・10月・2月）

(6) ICT を活用した授業づくり

- GIGA スクール構想における、ICT を活用した授業づくりを行う。

タブレットを使用する際のルール

- 1 先生が話し始めたら、タブレットを閉じる。
- 2 人のタブレットはさわらない。
- 3 許可なく人の写真や動画を撮らない。
- 4 許可されていない動画やゲームはしない。
※約束を守れない場合は、タブレットを預かる。